

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2010-205296(P2010-205296A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2010-117772(P2010-117772)

【国際特許分類】

G 06 F 3/023 (2006.01)

H 03 M 11/08 (2006.01)

H 03 M 11/14 (2006.01)

H 03 M 11/04 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/023 3 1 0 K

G 06 F 3/023 3 2 0 A

G 06 F 3/023 3 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】携帯入力端末の入力方式

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルファベット使用の字母入力鍵盤を持つ携帯入力端末の入力鍵盤において、和文と英文の入力を、ともに鍵盤の切り替えという形式的に共通した方式によって行うように設定した携帯入力端末の入力方式。

【請求項2】

請求項1における携帯入力端末の入力方式において、その和文の入力の場合に、すべての和文表記を、形式上子音プラス母音の形に整理して、同一の現実の鍵盤に、子音入力あるいは子音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる子音鍵盤と母音入力あるいは母音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる母音鍵盤とを設定して、この子音入力あるいは子音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる子音鍵盤に属する鍵を押し下げると、子音入力あるいは子音入力に関連する入力が行われると同時に、鍵盤が、母音入力あるいは母音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる母音鍵盤に切り替わり、同様に、この母音入力あるいは母音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる母音鍵盤に属する鍵を押し下げると、母音入力あるいは母音入力に関連する入力が行われると同時に、鍵盤が、子音入力あるいは子音入力に関連する入力を受け持つ鍵からなる子音鍵盤に切り替わるように設定した携帯入力端末の入力方式。

【請求項3】

請求項1、2における携帯入力端末の入力方式において、その和文入力の場合の子音鍵盤

と母音鍵盤の字母の配置を、基本的に五十音の配列の規則に従って構成した携帯入力端末の入力方式。

【請求項 4】

請求項 1における携帯入力端末の入力方式において、その英文の入力の場合に、単語つづりの上で相補性をもつ複数の子音を同一の鍵に設定して、この鍵の一度の押し下げで、同時にこれらの複数の子音の入力が行われるように設定した携帯入力端末の入力方式。